

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(国語)

指導方法の課題分析と授業改善策、及び補充指導等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展指導計画
1年	<p>経験したことなどを簡単な文作りを繰り返し行ったが、助詞の使い方の定着が不十分であった。</p> <p>大事なことを落とさないで聞くことを意識して指導したが、個人差が大きく、定着していない。</p> <p>順序立てて話すなどのスキルが十分に身に付いていない。</p>	<p>書き方の型を示しながら、文を書く機会をいろいろな教科に取り入れて行う。</p> <p>話を聞くルールを示し、話のポイントを確認するなど意識しながら話を聞けるように継続的に指導する。</p> <p>「接続詞」や「話型」を掲示して、いろいろな話し方、発表の仕方のパターンを定着させる。</p> <p>「声のものさし」を提示し、発表をする機会を増やす。</p>	<p>2文程度をノートに書くなど、スモールステップで文や文字を書く活動を多く取り入れる。その際、文字を正しく書くとともに、正しい表記も身に付けさせる。</p> <p>音読に興味・関心をもたるために、「音読カード」の活用や、詩の暗唱などを取り入れていく。</p> <p>全校朝会など校長先生がお話したことなどをクイズ形式にし、楽しく確認する場を設定する。</p> <p>ペア学習を取り入れ、相手に伝わるよう話したり最後まで聞いたりする経験を積み、言語活動の充実を図る。</p>
2年	<p>大事なことを落とさずに聞くために、必要な事項を明確に示し、指導した。全体的な向上が少しは見られたが、個人差が大きく、常に意識するように言葉掛けをしないとならず、定着していない。</p> <p>簡単な文作りから始め、生活文、紹介文、読書感想文の指導を重ねてきた。学習の手立ては理解しても、書く力に十分に活用しきれていない。文章を書く基礎としての、「、。」段落などの定着も不十分な状況にある。</p>	<p>話す・聞くの型を掲示し、児童の発表の中で良かったところ認め、良いモデルをイメージさせていく。発表の機会を増やし、自信をつけていく。</p> <p>文章の書き方の型を提示し、スモールステップで指導する。作文やノートを点検し、個別の習熟度を確認し、児童にも良かったところが伝わるように明示していく。</p> <p>視写と音読を継続して指導する。</p>	<p>言語を豊かにするため、詩の暗唱や読み聞かせ等を継続的に実施する。</p> <p>視写を多く取り入れ、文字を正しく書くとともに、正しい表記を身につけさせる。</p> <p>漢字練習や音読の繰り返し学習で、基礎・基本の充実を図る。</p> <p>5行日記を定期的に行い、書く習慣をつける。</p>

	聞き手を意識して、場面に合わせた大きさや速さなどに気をつけるように児童しているが、区別をつけられない児童や自信のなさが出てしまう児童がいる。	発表の仕方の例を掲示し、話形を具体的に示す。	クイズや間違い探しなどを活動に取り入れ、話の大切なところを聞き落とさないスキルを身につけさせる。 朝の会に「日直のスピーチ」の取り組みを工夫し、話したり聞いたりする機会を充実させる。
3年	漢字指導については繰り返しの練習とともに視写や文作りをした。定着には個人差が大きい。 話す型を示し、スピーチや発表を継続して行ったため、人前で話すことに対する苦手意識は減ってきた。しかし、はっきり話したり、自分の思いや場面を詳しく伝えたりするなどについては難しい児童がいる。 書くことに対して苦手意識をもっている児童に、書き方の例を提示することで、苦手意識の改善を図った。	「はみ出さないでなぞる」など丁寧に正しく漢字を書くことを徹底させる。また、家庭学習では日常的に既習の漢字を使って文章を書くように継続的に指導する。 話す・聞くの型を示したり、児童の発表の中で良かった点を紹介したりして、児童が自信をもって取り組めるようにする。 目的に応じた書き方の例を提示し、スモールステップで指導する。また、個別支援の時間を設定する。	家庭学習での反復練習を推進し、各自の練習方法について工夫させ、習慣化させる。 語彙を高めるために、読書や辞書の活用を継続的に行う。また漢字練習の際に、短文作りを取り入れ、語彙を増やしていけるようにする。 観察記録や授業の感想、お礼の手紙など「書く」機会を増やし、よい点をすすんで紹介する。 段落ごとに小見出しをつけるなどのスモールステップを用いて、内容の要旨や文章全体を捉えられるようにする。
4年	叙述に即した読み取りを、多数の児童ができているが、叙述から離れてしまう児童もいる。 書くことについて書きたいことを自分で決定するのが難しい児童がいる。 漢字指導については繰り返しの練習をしたが、定着には個人差が大きい。	音読の宿題は毎日取り組ませるようにする。 初発の感想を基に、課題を作る・課題に沿って読み取る・友達と交流し、考えたことをノートにまとめる、という学習を継続して行い、叙述に即して読み取ることができるようにする。	話型を活用する。 話合いの機会を多くもたせる。 目的意識をもたせて、様々な人の話を聞く活動を多く取る。 繰り返し練習や継続的にミニテストを行い、学年相応の漢字の定着を図る。

	<p>話す型を示し、話したいことの中心を詳しく話すことに課題のある児童がいる。</p>	<p>目的意識や言語活動を明確に示し、意欲をもって学習に取り組めるようにする。</p>	
5年	<p>場面ごとに叙述に即した読み取りができ、心情の変化に気付くことができる児童が増えてきたが、叙述から離れてしまう児童も見られる。</p> <p>作文は、各自で興味のある題材を決めて取り組む前に、幅広い例示が必要である。</p> <p>漢字の習得には、ドリルやノートで繰り返し行い家庭学習でも補う必要がある。</p>	<p>音読、黙読を繰り返して行い内容理解、漢字の読み、言葉の使い方の学習に生かす。</p> <p>作文などの教材に意欲をもって取り組めるように課題の出し方を工夫し、書き進める方法を具体的に示す。</p> <p>叙述に即して読み取ることができるように、様子や気持ちが表れているところにサイドラインを引きながら読み進めるようにする。</p>	<p>日常的に読書をする習慣を身に付けさせる。</p> <p>幅広く読書をするようにはたらきかける。</p> <p>漢字の習得には、ドリルやノートで繰り返し家庭学習等を行い、定着を図る。</p>
6年	<p>個人差が大きいため、個別指導が必要であるが、個に応じた指導のための手立てが十分でなかった。</p> <p>文を書く際、伝える相手を意識して、分かりやすい構成を考えることの指導が不足していた。</p> <p>文章を読むとき、内容を読み取るだけでなく、自分の考えをもち、筆者の伝えたいことと対比させながら読むことの指導が引き続き必要である。</p>	<p>語彙を増やせるように、意味の分からない言葉については国語辞典を活用して調べさせ、使えるようにしていく。</p> <p>段落構成を意識したりして書くように指導すると共に、じっくりと推敲を行う時間を確保する。</p>	<p>読書カードを工夫し、読書に意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>朝会の話の内容に対する小テストを朝の会で行い、話すこと、聞くことの力を伸ばすことを図る。</p> <p>教科書の巻末資料などを活用し、漠然と持っているイメージを言語化する力を伸ばすようにする。</p> <p>読むことの学習が中心となる単元では、その文章に対する意見文を書くことを意識した指導を意識する。</p>

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(社会)

指導方法の課題分析と授業改善策、及び補充指導等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展指導計画
3年	「町探検」などを行ったことで、学区域の学習への興味・関心・意欲が高まった。また、練馬区のガイドブックを作る、という最終目標を提示して学習活動を進めたことも、児童の意欲付けにつながった。しかし、地図や表などの資料をもとに考えたり、理解したりする経験が少ないために、資料活用能力や社会的思考の定着に個人差が大きい。	資料活用能力や社会的思考の定着を図るために、地図や表の見方について指導し、それをもとに調べたり、考えたりする活動を多くする。 方位については、社会科だけでなく、理科とも連動して方位で表現することを日常的指導していく	白地図に記録するだけでなく、児童の実生活や経験などを交えながら話し合い、実際の場所と結び付けるように工夫する。 できるだけ現場に出向き、実際に見て、感じる体験を大切に、理解を深める。 資料で調べるだけでなく、インタビュー活動なども取り入れる。
4年	自分たちの暮らしに関わるしくみや仕事に関心をもち、工夫を発見したり、疑問をもったりしている。 校外学習には意欲的に取り組む。体験したことや学習したことを自分の生活と関連付けて考えられる児童が少ない。 グラフや資料の読み取りや活用が十分ではない。	児童が自ら問題に対して予想を立て、調べ、解決していくことができるようにする。 グラフや資料の読み取り方については、全体から分かること、部分から分かることを読み取らせることを通して、資料を活用できるようにする。	校外学習の充実を図り、児童の実感を伴った学習を行っていく。 話し合いの機会を多くもたせる。 学習したことを生かしたまとめの活動では様々な表現活動ができるようにする。

5年	<p>興味関心をもって国土のあらしや食料生産(農業)について考えたり調べたりしている。</p> <p>グラフや資料の読み取りや活用が十分ではない。</p> <p>校外学習には意欲的だが、体験したことや学習したことを自分の生活と関連付けて考えることが苦手である。</p>	<p>グラフや資料の読み取り方については、全体から分かること、部分から分かることを読み取らせることを通して、資料を活用できるようにする。</p> <p>資料をノートに貼る、項目毎に色分けをする、大事な用語はマークするなど、ノート指導を行う。</p>	<p>図書館、資料館を利用していく。</p> <p>話し合いの機会を多くもたせる。</p> <p>学習したことを生かしたまとめの活動では様々な表現活動ができるようにする。</p>
6年	<p>興味関心の高い児童とそうでない児童の差が大きいので、一部の児童の発言により学習が進んでしまうことがある。</p> <p>そのため、授業に主体的に臨めていない児童がいる。</p>	<p>課題解決型の学習計画を立てるとともに、授業導入時に、興味関心のわく明確な発問をする。</p> <p>課題解決の時間を確保し、主体的に学習を進められるようにする。</p> <p>授業の導入時に児童の興味関心を喚起できる資料を提示し、意欲をもって授業に参加できる児童を増やしていく。</p>	<p>図書資料や新聞を有効活用するために、図書館支援員と連携する。また、ICT 支援員と連携してインターネットを使ったりして情報を集める。</p> <p>調べたことについて、小グループでディスカッションをさせたり、発表させたりすることで理解を着実にする。</p>

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(算数)

指導方法の課題分析と授業改善策、及び補充指導等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展指導計画
1年	<p>計算問題では、計算プリントや計算カードを活用し、習熟を図った。</p> <p>加法・減法の意味や技能については、定着を図り成果は見られたが、児童の意欲や確実性には若干個人差が見られる。</p>	<p>図を用いて書かせるなど、イメージしやすい個別指導の工夫を行う。</p> <p>具体物・半具体物の操作などを通し、加法・減法の場면을想像する時間を十分取る。</p> <p>学期末等に東京ベーシックドリルを行い知識の定着を図る。</p>	<p>文章問題では、場面の図や絵をかくなど、イメージ化を繰り返し行い、思考力の土台を作る。</p> <p>朝学習や補充教室で個別指導を行い、定着を図る。</p> <p>家庭との連携を図り、カード学習や数唱など継続して反復学習をする。</p> <p>自分の考えを絵や図、言葉や文を用いて表現できるようにする。</p>
2年	<p>半具体物の操作やスモールステップでの活動を取り入れたことは効果があったが、定着しにくく、思考力を高める必要がある。</p> <p>理解力・処理能力に個人差が大きい。</p> <p>じどうの個別指導が不十分であった。</p> <p>授業形態や指導方法に工夫が必要である。</p>	<p>学習内容や理解の程度によって、少人数体制にしたり、個別指導体制にしたり場の工夫をしていく。</p> <p>反復練習を強化する。</p> <p>図や表をや具体物を使った授業をする。</p>	<p>休み時間や放課後を利用し、理解不足の児童については、個別指導を行い定着を図る。</p> <p>カードなどを活用し、反復練習をする。基礎基本が確実に身に付くように家庭学習にも取り入れる。</p> <p>家庭との連携を図り、生活の中で時間や長さの感覚など継続して経験をさせていく。</p> <p>自分の考えを絵や図、言葉や文を用いて表現できるようにする。</p>
3年	<p>基本的な計算や理解力の差が大きい</p> <p>ため、授業形態や指導方法に工夫が必要である。</p> <p>コンパスや定規などの正しく使うことができない児童が多く見られた。</p>	<p>基本的な知識・技能は繰り返し学習させ、定着をはかる。</p> <p>コンパス・定規を使って模様を作るなど、児童が意欲的に取り組むよう配慮する。また、道具の操作に慣れるための学習を十分にとる。</p> <p>学習内容や理解の程度によって、少</p>	<p>計算練習を中心に反復練習を実施し、個別指導も取り入れながら習熟を図る。</p> <p>計算の処理に時間のかかる児童は、家庭と連携して補充的な課題に取り組ませる。</p> <p>児童の日常生活の中から身近な場面を取り上げ、具体的な指導をはかる。その際、具体的な場面と実際の操作や数直線図とを相互に結びつけるようにする。</p>

		人数、2人体制の少人数の指導体制をいかして、個別指導を丁寧に行うようにする。	個別指導が必要な児童には、既習内容をもう一度復習させたり、具体物等を使ったりして理解を深めていく。
4年	長さ、重さの単位など、前年度までの指導事項への理解度の差や、基礎的な計算など、処理能力の差が大きい。 差に対応できるよう、習熟度別のクラス編成を行ったことはよかった。今後もより、個の実態に応じた指導を行うため、授業形態や指導方法に工夫が必要である。	普段からノート指導をし、丁寧に写すよう指導する。図形では作図を多くさせ経験を積ませる。 学習内容や理解の程度によって、少人数、2人体制の少人数の指導体制をいかして、個別指導を丁寧に行うようにする。	反復練習などは、家庭学習を活用し、既習事項の理解や処理能力を高める学習の時間を確保していく。 また、放課後などを利用し、個別指導をする。 単元の学習以外でも、普段から長さや重さ、かさ、時間など意図的に使う機会をとって身につけさせ、小数や分数などの仕組みと相対的な見方ができるようにしていく。
5年	長さ、重さの単位など、前年度までの指導事項への理解度の差や、基礎的な計算など、処理能力の差が大きい。 個の実態に応じた指導を行うため、授業形態や指導方法に工夫が必要である。 作図の練習が不足し、正確な図を書くことに関しては個人差が大きかった。	普段からノート指導をし、丁寧に写すよう指導する。図形では作図を多くさせ経験を積ませる。 一つの問題に対して、いろいろな考え方が出せるような教材教具の工夫をするとともに、解決方法の発表の時間を大切にする。	反復練習などは、朝学習の時間や家庭学習を活用し、思考力を高める学習の時間を確保していく。また、放課後などを利用し、個別指導をする。 単元学習以外でも、日常生活の中で算数を多く紹介し、活用していくことで理解を深めていく。

6年	<p>基本的な計算力はある。文章を読んで求めることを見つけ、立式する力に個人差がある。また、文章を読んだだけでは問題へのイメージがもてず、図に書き表すことが苦手な児童が多い。</p> <p>概数や概数の計算など、既習事項を定着させる時間が不足し、活用する力を伸ばすのが難しかった。</p>	<p>自己解決の時間を多くとり、線分図に表すなど、題意を捉えて、立式するまでの過程の思考に時間をかけ、感覚的に立式してしまうことを改善させていく。</p> <p>単元終了後など、復習の時間を定期的に設ける。</p> <p>中学校生徒も苦手としていることの多い、分数の扱いについて、繰り返し指導をする。</p>	<p>説明活動、問題作り、資料から読み取ったことへの考察など、言語活動を各領域で行えるように単元構成を工夫する。</p> <p>余剰の時間に発展的な問題に挑戦させる。朝学習などの時間を使って個別に補充問題に取り組みせ、学習習慣を定着させる。放課後や給食準備中には、個別指導を行い、学習の定着を図るようにする。</p> <p>指導方法を工夫し、発展的な問題も取り組むことができる機会を作る。</p>
----	--	--	--

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(理科)

指導方法の課題分析と授業改善策、及び補充指導等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展指導計画
3年	<p>動植物の飼育など体験的な学習を継続的に行ったことで、興味・関心が高まり、知識理解にもつながった。</p> <p>植物の栽培は天候などに影響されることがあり、適切な時期での観察指導が難しい場合があった。</p>	<p>導入などを工夫したり、学習の流れをつかませたりしながら、自らの課題をもたせ、計画的に学習を進める。</p> <p>観察する際には、比較しながら調べる能力が身に付くように、視点をしっかり押さえて指導する。</p>	<p>学校での観察だけでなく、家庭でも継続的な観察ができるように、教材を工夫する。</p> <p>様々な動植物にふれさせ、比較しながら観察させる。</p> <p>図鑑、インターネットなどを活用し、知識を身に付けると共に、身に付けた知識を実際の観察や実験で確認するように授業展開していく。</p>
4年	<p>植物の観察や実験を好み、意欲的に学習に取り組んでいるが、自分の考えに根拠をつけて説明することが苦手である。</p> <p>器具の扱いに不慣れであり、上手く実験結果を出せない児童が多い。</p>	<p>予想や自分の考えを上手く示している児童のものをお手本に示す。授業のまとめをする際に必要なキーワードを示す。</p> <p>注意する点について、板書や実物投影機などを活用して、視覚的に分かるようにしていく。</p>	<p>観察や実験を充実させ、児童の実感を伴った学習を行っていく。</p> <p>問題解決の学習を意識し、単元を通した大きな疑問をもたせたり、興味・関心が持続してもてたりするような事象との出会いを意識する。また、ノートの指導でノートの書き方のモデルを示し、理解を促すことで、児童の思考の流れが確認できるようにする。そのことで、問題解決の方法を身に付けさせていく。</p>
5年	<p>実験は好んで意欲的に取り組むが、そこで得た知識が身に付かない児童が見られる。また、自分の考えに根拠をつけて説明することが苦手である。</p> <p>物事の事象を関連づけて考えることが苦手である。</p>	<p>実験記録(ノートで指導)観察カードを充実させ、実験・観察の視点を明確にし、工夫してまとめるように指導する。</p>	<p>興味・関心の高まりに対応して発展的な学習のための実験を取り入れたり、補充的学習のために調べ方や道具の使い方など繰り返して学習できるようにしたりする。</p> <p>観察や実験を充実させ、児童の実感を伴った学習を行っていく。</p>

6年	様々な事象を具体的に目に見える形として提示しないと理解が進まない。 「結果」「考察」「結論」の違いがわからず、ノートを取りながら自分の考えを深めることができていない児童が多い。	問題解決の流れを明確にした上で、自分の考えを言葉だけで表現させるのではなく、イメージ図やモデル図なども活用して表現させていく。 「観察・実験の技能・表現」の定着を図るために実験計画時に支援する。	興味・関心の高まりに対応して発展的な学習のための実験を取り入れたり、補充的学習のために調べ方や道具の使い方など繰り返して学習できるようにしたりする。 既習事項を生かし、科学的思考ができるよう個別にノート指導にあたる。
----	---	--	---

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(生活)

指導方法の課題分析と授業改善策、及び補充指導等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展指導計画
1年	<p>気づきや思いをみとり、活動へつなげる場面の確保が難しい。</p> <p>見つけたものや思ったことを言葉で表現することがまだ難しいため、友だち同士での情報交換が十分にできない。</p> <p>自然や社会とのかかわりを実感できる学習の場を設定するのが難しい。</p>	<p>「ただ楽しい」ということから、「見つけた・気づいた」という、面白さを与えられるような単元構成をしていく。次の活動を伝え、見通しをもたせる。</p> <p>発表したり、それを聞いて質問をしたりする活動する場面を多く設定するなど、言語活動の充実を図る。</p> <p>単元計画、指導計画を立てる際に季節や地域・学校の行事を考慮したものにしていく。</p>	<p>カードには不思議だと思ったこと、すごいなと思ったことなど、気づきを書いていけるような指導をする。</p> <p>観察カードには、観察の視点を明確にして書くように指導する。</p> <p>朝の会や帰りの会などを活用して関心・意欲を喚起することを継続的に行う。</p>
2年	<p>児童の発想を生かした活動を展開することが難しい。</p> <p>自然や社会とのかかわりが体感できるような学習活動の場を設定することが難しい。</p> <p>気づきや思いをみとり、次の活動へつなげていく場面の設定が難しい。</p>	<p>興味関心を広げるために、一人一人のよさや気づきを子供たちがお互いに認め合えるような学習活動を取り入れる。</p> <p>季節を感じたり、植物を育てたりする機会をできるだけ多く設定する。</p> <p>毎時間、関わる児童を絞り、個のみとりができるように活動の展開を工夫していく。</p>	<p>考えを伝え合う活動を多く取り入れ、お互いのよさを認め合える人間関係作りをする。</p> <p>体験的活動の機会を増やし、それぞれの活動の関連を意識させ、学びの必然性を実感させていく。</p> <p>学校の環境を生かしながら、児童の行動できる範囲を考慮して、人や自然と触れ合うことの大切さや楽しさを学ばせる。</p> <p>観察・発見カードに、観察の視点を明確にして書くよう指導する。記録したカードを常掲し、観察の視点や表現方法を学び合う場を設定する。</p>

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(音楽)

指導方法の課題分析と授業改善策、及び補充指導等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展指導計画
1年	・鍵盤ハーモニカは個人差が大きく、全員が基本的な演奏の仕方を身につけさせるようにする。	・わらべうたやリズム遊びを取り入れ、表現を楽しむことができるようにすること、個別の指導や児童同士の教え合いなど指導方法を工夫する。	・みんなで声を合わせて歌う楽しさや、情景や想像した気持ち音楽表現に生かせるようにしていく。
2年	・楽しく学習することを大切にしながら、基本的な学習内容を確実に習得させる。子どもたち同士のかかわり合いを大切ににする。	・わらべうたやリズム遊びや即興的な表現活動を取り入れ、表現を楽しむことができるようにする。	・のびのびと表現できるような雰囲気づくりを心がけ、個々の表現の良さを共有し、さらに高めていけるようにする。
3年	・リコーダーの基本的な奏法を身につけさせる。 ・友達とのびのびと表現できるようにさせる。	・互いに関わり合って表現する場面を設定し、グループやペアを組んで学習する活動を取り入れる。	・皆と一緒に楽しむため、技能面で個別指導が必要な児童には適宜行う。 ・自分から進んで取り組める教材の提示をする。
4年	・基本的な内容を確実に習得させるとともに、思いをもつてのびのび表現することができるようにさせる。	・基本的な知識や表現の技能の基礎をその都度確かめるとともに、自分の思いと友達の思いを伝え合うことで、豊かな表現へとつなげていく。	・学習形態を工夫し、思いをもつことができない児童も、友達の意見を聞くことによって、自分の言葉、演奏で表現できるようにさせていく。
5年	・音楽表現を楽しむことができる雰囲気をつくり、思いをもつてのびのび表現することができるようにさせる。	・目標をもって取り組むことができるようにし、達成感や充実感を味わうことができるようにさせる。 ・教材の提示を工夫し、わかりやすく、明確な指導・言葉がけを心がける。	・知的な興味や楽しさを感じることができるよう、教材や指導の工夫を行う。

6年	・音楽における基礎基本を習得させ、個と集団の関わりを考えさせることにより、達成感や充実感を味わわせるようにする。	・学習形態を工夫したり、お互いに聴きあう活動を取り入れたりすることにより、共感できる場を設けるようにする。	・一斉指導の中に、できるだけ個別指導の時間を確保するようにする。パート練習のときは、教えあえるようにしていく。
----	--	---	---

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(図画工作)

指導方法の課題分析と授業改善策、及び補充指導等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展指導計画
1年	ものをつくったり、描いたりすることに興味があり、意欲的に取り組んでいる。 積極的に体を動かしながら活動する児童が多い。	話を聞く時、活動する時など、授業のルールを徹底させた上で、体全体を働かせて活動して授業に参加する楽しさを味あわせる。 はさみ、のり、絵の具やパステルなどの道具の使い方を、実演を交えながら指導する。	自分の作品の楽しさを友達に知らせたり、友達の話を聞いたりする機会をつくる。話したり、聞いてもらったりする経験を充実させる。 片付けの時間を確保し、教室や道具の扱い方を指導する。
2年	進んで表したり見たりする態度が身についてきていて、意欲的に取り組もうという児童が多い。 細かい細工も丁寧に仕上げようという意識が高まっている。 見通しをもつことが苦手な児童が多く、制作手順が分からなくなると遊び始めてしまうことがある。	話を聞く時、活動する時など、授業のルールを徹底させた上で、体全体を働かせて活動して授業に参加する楽しさを味あわせる。 板書の内容を見やすくしたり、見本コーナーを用意したりして、制作の見通しがもてるようにする。	自分の作品の楽しさを友達に知らせたり、友達の話を聞いたりする機会を多くつくり、聞いたり、聞いてもらったりする経験を充実させる。 片付けの時間を確保し、教室や道具の扱い方を指導する。
3年	進んで表したり見たりする態度が身についてきていて、意欲的に取り組もうとしている。 制作手順など作品について見通しをもつことが苦手な児童が多く、方法が分からなくなったり、表現方法に悩んで制作が進まなかったりする児童がいる。	話を聞く時、活動する時など、授業のルールを徹底させた上で、体全体を働かせて活動して授業に参加する楽しさを味あわせる。 板書の内容を見やすくしたり、見本コーナーを用意したりして、制作の見通しがもてるようにする。	自分の作品の楽しさを友達に知らせたり、友達の話を聞いたりする機会を多くつくり、聞いたり、聞いてもらったりする経験を充実させる。 片付けの時間を確保し、教室や道具の扱い方を指導する。

4年	<p>自分の感覚や気持ちを生かしながら落ち着いて取り組める子も多いが、制作に自信が無く、手が動かない子もみられる。</p> <p>好きな色を選び、いろいろな形をつくって楽しむことができるが、作品の細部を作り込むことが苦手な児童が多い。</p>	<p>材料用具の扱いに慣れ、材料体験を積みながら児童が表したいことを自分で見つけていけるよう、できるだけ教師のそばで取り組ませ、良いところを具体的に褒める。</p> <p>自信をもたせつつ、楽しみながら十分に手を働かせられるよう扱いやすい材料や用具を準備する。</p> <p>制作についての説明を見本作品や資料を活用して、分かりやすく、簡潔に伝える。</p>	<p>様々な材料で活動が広がるよう、材料を用意して教室環境を整備する。</p> <p>材料や用具が子どもの手になじむよう配慮して正しく安全な用具の扱いを指導する。</p>
5年	<p>意欲的に自分なりに表したいことをみつけて活動できている。絵の具など用具の扱いも手慣れてきた。</p> <p>友達の話聞いて、表し方などの面白さに気づくのが苦手な児童がやや多い。</p>	<p>材料体験を積みながら児童が主体的に楽しめるように、題材の材料やねらいを整理する。</p> <p>児童の表したかったことに寄り添い、そのよさに気づかせて自信をもたせる。</p> <p>友達との関わりながら活動させ、友達の工夫のよさや面白さ気づかせる。</p> <p>作品や技能に関する見本を準備し、作品制作の見通しをもたせる。</p>	<p>様々な材料で活動が広がるよう、材料を用意して教室環境を整備する。</p> <p>友達と一緒に共同の活動を多く取り入れ、その楽しさを味わわせる。</p> <p>作品展の共同制作など、仕上がりの早い児童が取り組める飾りづくり等を用意する。</p>
6年	<p>様々な質感の材料や、絵の具や工具などの用具に触れてきたため、それを活用していく児童が多い。</p> <p>色や形での発想や構想をもとに、自分なりの技能を活かす児童が多い。</p> <p>発想を練ることが苦手な児童が多く、制作内容を決定して制作に集中するまで時間がかかる。</p>	<p>材料の特徴を生かし、児童が主体的に制作を楽しみ自分の力を発揮できるよう、題材構成に幅を持たせる。</p> <p>見方を変えると色や形のイメージが面白くなることに気付かせる。</p> <p>作品のために写真資料を沢山用意し、作品制作の見通しをもたせたり、表現の幅を広げさせたりして制作活動に取りかけられるようにする。</p>	<p>自分らしい表現のための技術や方法を自ら進んでみつけたり、より楽しい工夫のあり方を主体的に児童自身で計画したりできるよう共同の活動にも取り組ませる。</p> <p>作品展の共同制作など、仕上がりの早い児童が取り組める飾りづくり等を用意する。</p>

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(家庭)

指導方法の課題分析と授業改善策、及び補充指導等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展指導計画
5年	<p>意欲の持てない児童や経験不足の児童への個別の指導方法を工夫する。</p> <p>作品を仕上げるまでの時間に個人差があるので指導を工夫する。</p> <p>家庭生活上の知識的な部分、用語や使用法などはきちんと定着させる工夫をする。</p>	<p>生活を振り返り、また生かすことへの関心を持たせるよう、課題解決型の授業を行い、家庭生活に実践していくよう意欲を持たせる。</p> <p>時間と場の保障と安全管理に留意するとともに、学習ボランティアをつのり、個別の指導を充実させる。</p> <p>板書を工夫したりプリント等を準備したりして、定着を図る。</p>	<p>トライカードなどを用意し、家で実践できる工夫をする。</p> <p>長期休業時に、学習したことを定着できるように計画し、レポートをさせる。</p>
6年	<p>意欲の持てない児童や経験不足の児童への個別の指導方法を工夫する。</p> <p>作品を仕上げるまでの時間に個人差があるので指導を工夫する。</p> <p>正しい知識を身につけさせるため、重要な用語や器具の適切な使用法などを定着させるための工夫をする。</p>	<p>生活を振り返り、また生かすことへの関心を持たせるよう、課題解決型の授業を行い、家庭生活に実践していくよう意欲を持たせる。</p> <p>時間と場の保障と安全管理に留意するとともに、学習ボランティアをつのり、個別の指導を充実させる。</p> <p>板書を工夫したりノートに写させたりして、定着を図る。</p>	<p>トライカードなどを用意し、家庭で実践できる工夫をする。</p> <p>長期休業時に、学習したことを定着できるように計画し、レポートをさせる。</p>

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(体育)

指導方法の課題分析と授業改善策、及び補充指導等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展指導計画
1年	<p>遊具での遊びは、経験不足の児童もいるため、個人差が大きい。</p> <p>走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な動きに個人差が大きく、実態に即した課題作りが難しい。</p>	<p>運動技能を高めるため、学習カードを活用したり、遊びを通したりして指導を図る。</p> <p>事例を示し、安全に対して意識づけ、怪我のないよう認識させる。励まし合う言葉かけなどフェアプレーを意識した指導をしながら、個々の苦手意識を克服するよう声掛けをしていく。</p>	<p>運動遊びを通してルールを守るなど、態度面も含めて技能を高めるような指導をしていく。</p> <p>毎回の授業の中で、必ず基本運動の徹底を図り、サーキットなどを活用して、運動を高める学習を取り入れ、体力の向上を図る。</p> <p>集団遊びを通して、よりよい仲間作りやフェアプレーの精神を身に付けさせる。</p>
2年	<p>走る、支持する、投げるなどの基本的な動きに個人差が大きく、実態に即した課題作りが難しい。</p> <p>鉄棒・うんてい・登り棒などでは、体を支持する力や体の各部の動かし方に個人差がある。経験不足や恐怖心の強さなども課題がある。</p> <p>様々な動きを取り入れたリレーでは、バランスを崩したり、ルールで混乱したりする児童がいた。</p> <p>ドッジボールでは、すすんでボールを捕ったり、当てたりする児童が偏ってしまった。</p>	<p>意欲を高め、技能のポイントを学びやすくするため、学習カードを活用する。</p> <p>一人ひとりの目標や課題意識をもって、練習に取り組めるようにする。</p> <p>授業の前半に、不足する力を補い、基本の動きを高める運動を取り入れる。</p> <p>良い動きのチームや児童の様子を観察させる。互いに教えあったり、工夫したりする場を設ける。</p> <p>ルール作りを工夫して、いろいろな児童が活躍できるようにする。</p>	<p>運動遊びを通してルールを守るなど、態度面も含めて技能を高めるような指導をしていく。</p> <p>毎回の授業の中で、必ず基本運動の徹底をはかり、サーキットなどを活用して運動を高める学習を取り入れる。</p> <p>ルールのある活動を通して、よい人間関係づくりや、協力する姿勢を身に付けさせる。</p> <p>苦手に感じている個には励ましをおくり、できたことや頑張ったことを互いに認め合う場面を設定する。</p>

3年	<p>多様な動きを意識して学習に取り上げたが、柔軟性に欠く児童やバランス感覚が必要な動きを苦手とする児童が多く、技が高まらない。</p> <p>運動を楽しみながら取り組む児童が多く見られるが、体の使い方を意識して取り組める児童は少ない。</p> <p>用具の準備や後片付けを協力して行うことができる。</p>	<p>自分の課題を明らかにさせ、自分にあった練習の場を選んで意欲をもって活動させる。</p> <p>運動の楽しみを維持しながら、多様な動きを学習に取り入れるようにする。</p> <p>また、体の使い方に意識できるように、教具を工夫したり個別に声かけをしたりする。</p>	<p>生活の中で、自ら体を動かして活動することの楽しさを知らせるために、休み時間や放課後の外遊びを励行する。</p> <p>授業の中でコーディネーショントレーニングを取り入れていく。</p> <p>めあての確認と振り返りが行えるように、学習カードを取り入れる。</p>
4年	<p>意欲をもって運動を楽しく行うことができる。</p> <p>体の使い方を意識して運動することができない児童がいる。</p> <p>勝敗を受け入れるといった態度面で課題のある児童がいる。</p>	<p>学習資料や学習カードを活用して、めあてを明確にもたせて運動できるようにする。</p> <p>チーム内で互いに教え合ったり、工夫したりして高め合う楽しさを味合わせる機会を設定する。</p> <p>運動の楽しみを維持しながら、チーム全体がよりよい動きや励ましにつながる視点をもたせる。</p> <p>フェアプレーの意識を高めるため、ふさわしい言葉かけや応援を具体的に示す。</p>	<p>ゲームをより楽しくするために自分たちに合ったルールを考えさせる。</p> <p>学習カードを活用して、個々に合わせた目標をもたせる。</p> <p>運動の特性に合った補助運動を継続的に取り入れることで体力や技、動きの質を高めていく。</p>
5年	<p>用具の準備や後片付けを協力して行うことができる。</p> <p>思考・判断を促す学習形態の工夫・発問・支援が必要である。</p>	<p>運動能力の記録を取り自己の目標を持たせて練習させる。</p> <p>互いの運動を見合い、教え合う活動を積極的に取り入れる。</p>	<p>学習カードを活用して、個々に合わせた目標をもたせる。</p> <p>運動の特性に合った補助運動を継続的に取り入れることで体力や技、動きの質を高めていく。</p>

	<p>運動経験が少なく、体の使い方を意識して運動することができない児童がいる。</p>	<p>学習資料を充実させ理解を深めさせる。</p>	
6年	<p>苦手な種目に意欲的取り組みせる工夫が課題である。</p> <p>自他の運動の様子を知り、スキルアップをするための練習や場の工夫をする学習を引き続き行う必要がある。</p> <p>ゲストティーチャーを講師に招いたダンスの学習では、大変意欲的に取り組む姿が見られた。</p>	<p>運動能力の記録を取り自己の目標を持たせて練習させる。</p> <p>学習資料を充実させ理解を深めさせる。</p> <p>互いの運動を見合ったり、ICT 機器を活用したりして、教え合う活動を積極的に取り入れる。</p>	<p>夏季水泳指導に参加させる。</p> <p>学習カードを工夫し、自己評価を次時の学びに生かせるよう教師のアドバイスを充実させる。</p> <p>動画など、ICT 機器を使って動きを比較したり、客観的に見せたりして、理解を深めさせる。</p> <p>中学校の体育祭の参観や授業・部活見学を勧め、中学での体育授業へ希望と期待をもたせる。</p>